

# 第75回 全国書道誌上コンクール出品要項

左記のとおり毛筆コンクール作品を募集します。奮つてご応募下さい。

## ◆一般部（高校生以上）

### 一、出品区分

一科審査会員  
二科審査会員（師範）  
無鑑查（教範）  
一科（書範・準四段）  
二科（三段・準初段）  
三科（1級・新入）

● 教育部	会友	六〇〇円
一、出品締切	中学・幼年	五〇〇円
一、送り先	午前九時半から	土岐市泉島田町一-三〇
平成二十一年一月二十四日(土)	大書心会全国書道コンクール係	〒509-5134
午前九時半から	セラトピア土岐・会議室	

※本会の毛筆部に出品していな場合は、所属団体での段級、資格または書歴を明記の上、該当する区分に出品すること。

## 一、作品寸法

条幅半切 縦(136cm×35cm)

※小さい作品を半切大に貼つたものは不可。  
一、作品内容

漢字・かな・調和体

※一般部は、作品に出品票を必ず貼付し、必要事項を記入した出品申込書と一緒に出品料を添え出品すること。(必要な書類は、予め各支局・支部に送付する。個人会員は本部事務局まで請求のこと)

## ◆教育部（中学生・小学生・幼年）

一、課題 自由。ただし書初めにふさわしい語句。（一ヶ月例課題参考）

一、用紙 条幅半切四分の一(68cm×17.5cm)  
一、出品料 (一点につき)

●一般部 一科審査会員 四、五〇〇円  
二科審査会員 三、五〇〇円

三 科 一 科 二、五〇〇円  
二、〇〇〇円

●表装料（税込み・送料実費）  
条幅半切 四、八〇〇円より  
A5Gまで七種類あります。

### 半切四分の一

H、紙表装  
I、布表装  
一、四〇〇円  
二、八〇〇円

## 一、会長賞受賞者の特典

●教育部で六段以下の受賞者は一段階昇格を認めます。

●教育部小四年生以上で、幼年から通算して三回受賞した場合は会友を認定する。

●いすれも発表月から昇格する。

## 一、特別昇級の特典

●一般部・教育部とも毛筆部1級以下の出品者は、全員一階級特進を認めます。

## 一、その他

●作品はすべて未発表のものに限る。

●一人何点出品してもよいが、特別賞受賞は一人一点とする。

●コンクール作品と月例競書を兼ねる事はできないので、それぞれに出品すること。

●一般部は、出品区分別に審査の上、各上位入賞者については、昇格制度に基づき、昇格または昇段級する。(内規に定める)

●出品料は為替か小為替にして作品と同封し書留で送るか現金書留による送金に限る。(振替、その他は不可)

●成績は、本誌4月号に発表するほか、各団体別に通知し、賞品・賞状は、4月号送本時に同封する。

●出品作品は原則として返却はしないが、表装を希望する場合は、表装後返却するので、二月末日までに本部事務局へ申込むこと。(詳細は、支部長または本部まで)

## 連綿を学ぶ

締切り 一月二十四日（必着）

### 形連 ④



上の字の収筆から、すぐ下の字の起筆に続ける。

あらじと

ちの

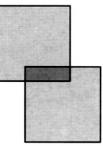
おもふ

◎文字を続けて書くことを連綿といいます。実線でつながったものを形連、実線ではつながっていないものの、気脈が通ったものを意連といいます。ただし一般的には、連綿＝形連をさします。

◎練習では、単体のイメージを捨てて、連綿のリズムに浸ってみましょう。切りどころ、休みどころを覚えれば、多字連綿でも無理なく書けるようになります。

◎作品の出し方  
上掲の図版で示した四行を書いて下さい。

### 形連 ⑤



上の字の収筆と下の字の起筆を重ねる。

いとひて

こと

ひとし

みよしのゝ

みよしのゝ

ふゆなれど

※高野切第三種から抜粋しました。

【お願い】出品数が大幅に増加しました。事務処理の正確を期すため、支部略称・氏名・会員番号・毛筆かなの成績をご記入ください。

▼硬筆部＝B5判（二五七mm×一八二mm）程度の紙に書いて下さい。  
※本会かな用紙でも可。

▼用具は自由（黒色に限る）  
▼毛筆部＝かな用半紙横半分を縦に使用し、バランスよく配置して臨書して下さい。（拡大臨書可）

▼出品制限の対象とはしませんので、どなたでも出品できますが、硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼優秀作品数点を写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

## 短期特別課題

## 古筆に学ぶ

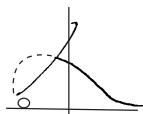
# 一般部規定課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

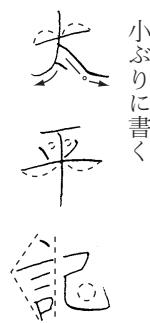
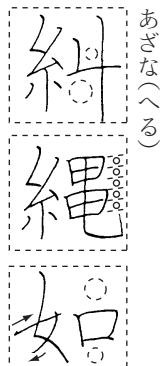
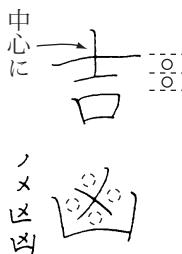
超えるもののではない  
その人の経験を  
いかなる人の知識も

岡田龍芳書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]



	糾	吉
	ヘ	凶
	る	は
太	縄	
平	の	
記	如	
太	記	
平	記	
記	如	
L	し	

大谷清城書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆2月課題予告(行書)

己達せんと欲して  
人を達せしむ  
孔子

★いかなる:(書体=楷書)

ジョン・ロック(1632-1704)  
イギリスの哲学者・政治学者

経験論哲学の代表者の一人として、  
あらゆる知識は経験に基づくものであ  
ると言っています。

確かに、書物で得た知識より、自分  
が経験して得たことの方が、人の頭や  
心にしつかり根づくものです。

◆2月課題予告(行草または草書)

行路難水に存らず  
山に在らず只人情  
反覆の間に在り

▼教範・書範=楷書  
▼師範=楷書

良いことと悪いことは次から次へと  
交替するようになります。ですか  
ら、苦しい時もあまり悲観し過ぎるこ  
とはありません。明日に希望を持つて  
ピンチをチャンスに変えるよう努力し  
ていきたいものです。

※糾・へる=原文のまま旧仮名遣いであります。

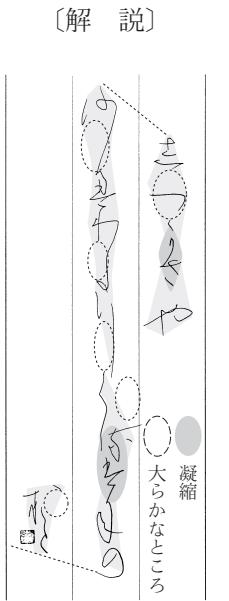
# 一般部かな課題

締切り 1月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

[解説]



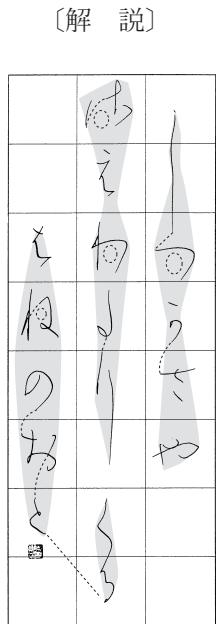
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と

荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

[解説]



静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と  
静かさや冴え渡り来る羽子の音と

荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

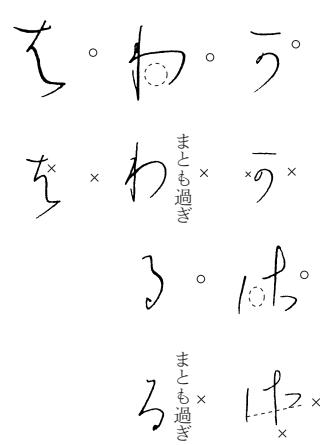
▷用紙=本会級位用紙

◆2月課題予告

あたたかやしきりにひかる蜂の翅  
(久保田万太郎)

[段位ワン・ヒント]

円と直を上手に組み合わせて形を工夫して下さい。近い距離の連綿は、ためらう事なく、すっと運筆するのです。かぶせるようにする連綿、バックしての連綿がありますが、ゆったりと大らかに書いて下さい。作品には凝縮した部分と大らかな所が、お互に作用して効果をあげます。



**〔級位ワン・ヒント〕**  
単体の放ち書きが大部分です。規定の用紙に同じ調子でたくさん書かれた中から一枚選ぶ……書く字が小さいので見る方も疲れます。そこでウンと大きく書いて練習するのです。形の不備もよくわかり、リズムも早くつかまると思います。期日が迫ると規定用紙に清書するのです。軽く持つて圧と速さをいろいろ変えて試みるのです。

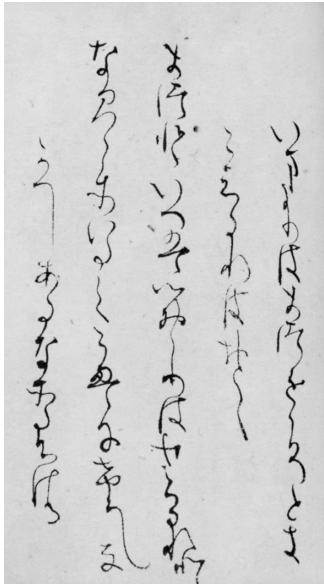
**〔句意〕**正月の静かな路地に羽子つきの音だけが聞こえている。正月のあたりの静かさ、のどかさが表れています。

静かさや冴え渡り来る羽子の音  
(村上鬼城)  
静かさや冴え渡り来る羽子の音  
(村上鬼城)  
静かさや冴え渡り来る羽子の音  
(村上鬼城)  
静かさや冴え渡り来る羽子の音  
(村上鬼城)  
静かさや冴え渡り来る羽子の音  
(村上鬼城)

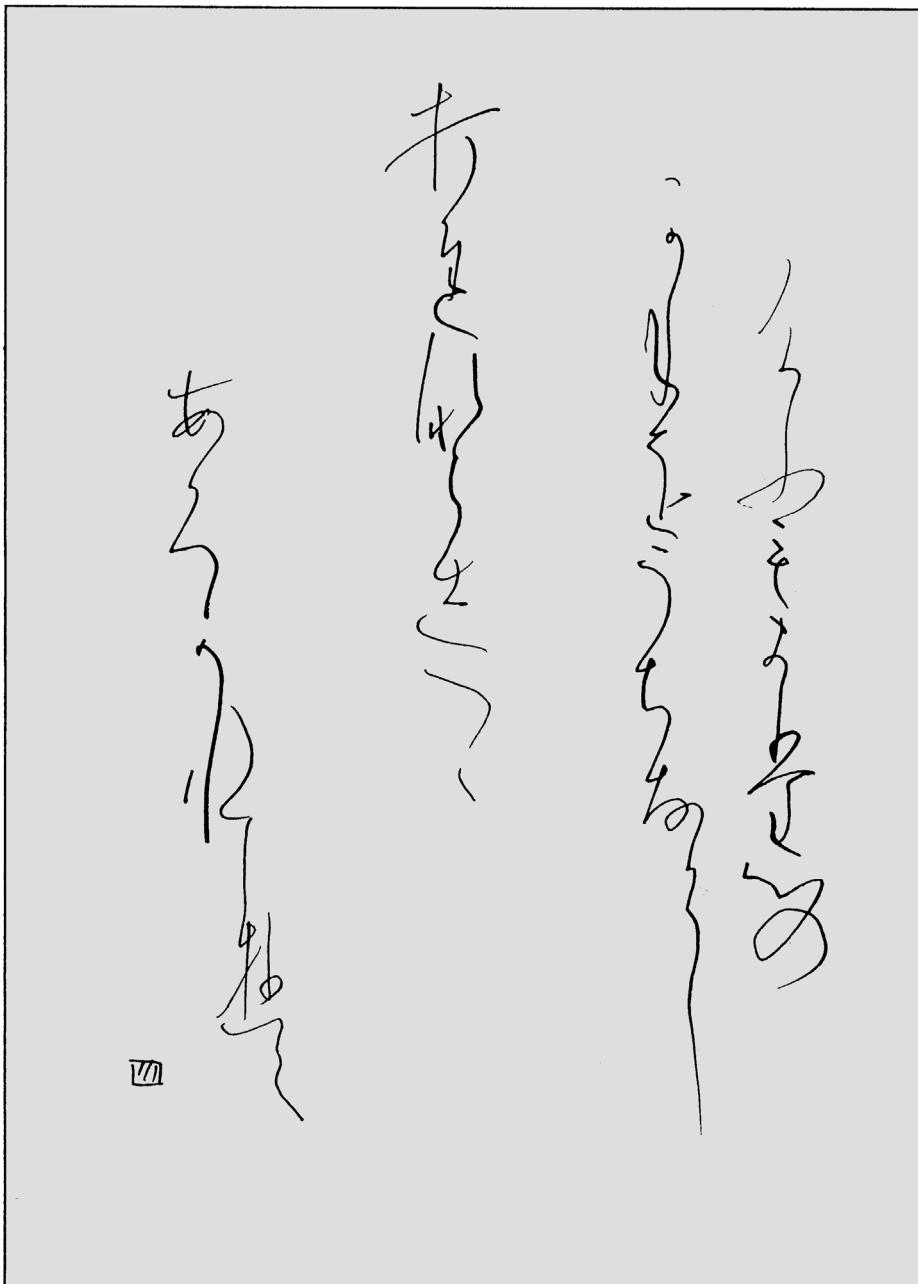
## 一般部かな課題

## 師範・教範・書範

[古筆參考]  
一條摺政集



いまよりはまつをこそ、とき  
万利徒曾支登



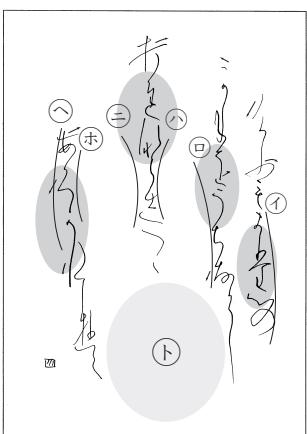
締切り 一月二十四日（必着）

築やな  
瀬せ  
舟しゅう  
香こう  
書

昨年に引き続き今年も宜敷お願い申し上げます。

うち 鳴らしつつ あくがれで 行く  
うち 遅那 那毛 毛堂 心志 こころの鉗可年をうち 遊奈 奈鳴らし

て  
い  
る。  
〔出典〕  
〈名歌即訳  
若山牧水〉



- ①とへ、①とホ、①とハ、②とへ、②とホ、  
とホ、③とホ、③とヘ、それぞれ呼応。
  - 一行の中の疎密と墨の動き
  - ④ 間が大切。

↙は線の方向に注意↓これは作品をま  
とめたり躍動感を出すために大切な技。

2月課題予告  
しみじみとけふ降る雨はきさらぎの  
春のはじめの雨にあらずや  
(若山牧水)

締切り 1月24日(必着)

秋から自動車学校に通つてやつと  
免許が取れました。運転はいつも  
お祖父ちゃんに頼りまくりだったけれど  
でも連れて行つてあげるか  
勿論お祖母ちゃんも一緒に行ね。  
勿論お祖母ちゃんも一緒にね。

秋から自動車学校に通つてやつと  
免許が取れました。運転はいつも  
お祖父ちゃんに頼りまくりだったけれど  
でも連れて行つてあげるか  
勿論お祖母ちゃんも一緒に行ね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙ははがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具ははがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

岡 嶋 桂 川 書

森鷗外と夏目漱石は、近代日本の

大文豪として並び称されている。

新潟県阿賀野市 氏名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 1月24日 (必着)

新入から1級まで (楷書)

準初段から師範まで



澤せ  
静い  
雨書



奥村暢之  
臨



准

整

戎

衣

用

扶

[出典] 孔子廟堂碑 (626~633) [筆者] 袁世南 (558~638)  
[読み] 愛に戎衣を整え、用って(興業を) 扶く。

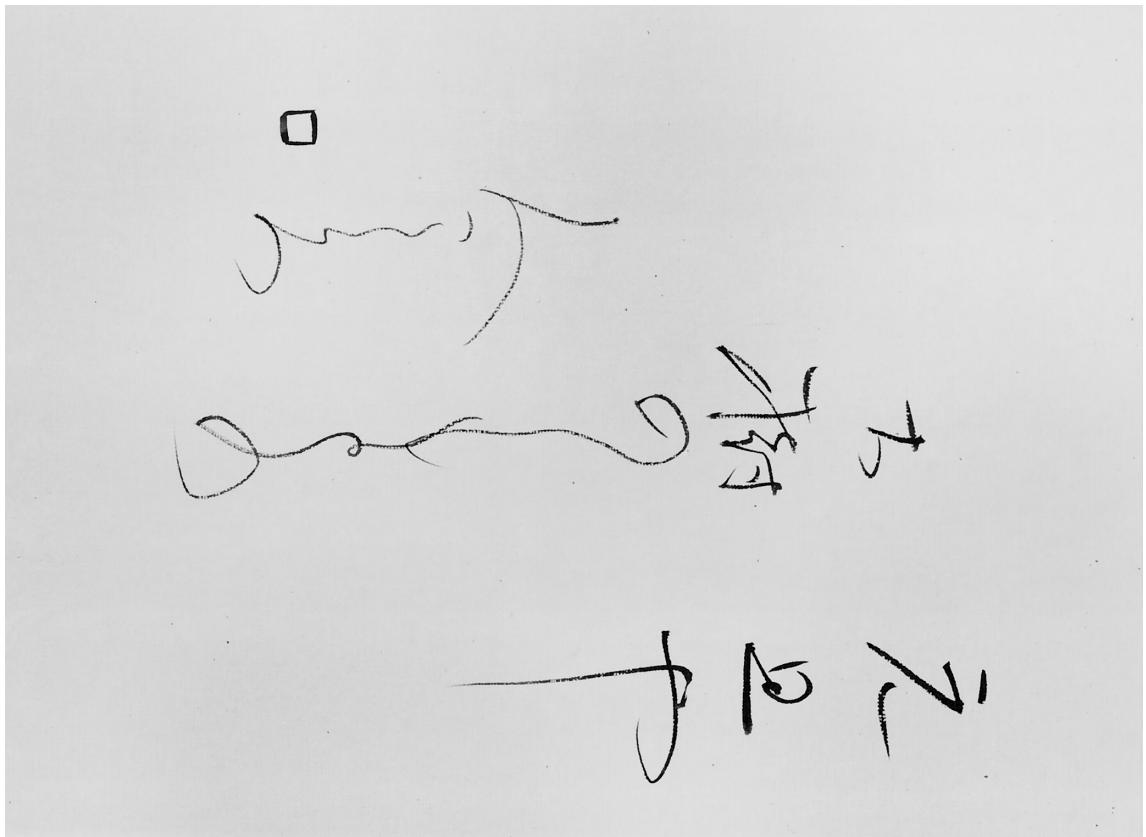
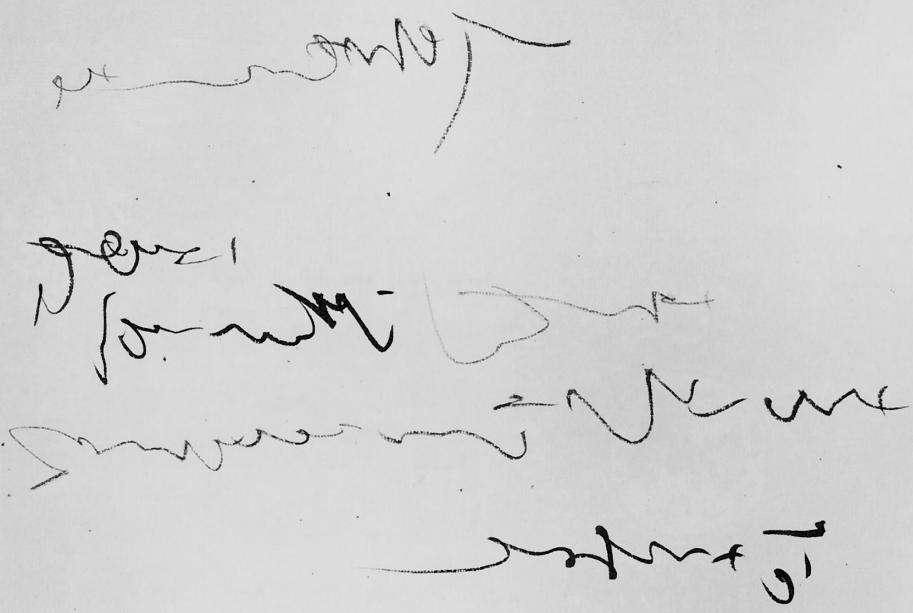
[読み] 日出て海天清し  
[大意] 初日の光をうけて海も天も清々しく輝く。

# 一般部毛筆かな課題

締切り 1月24日 (必着)

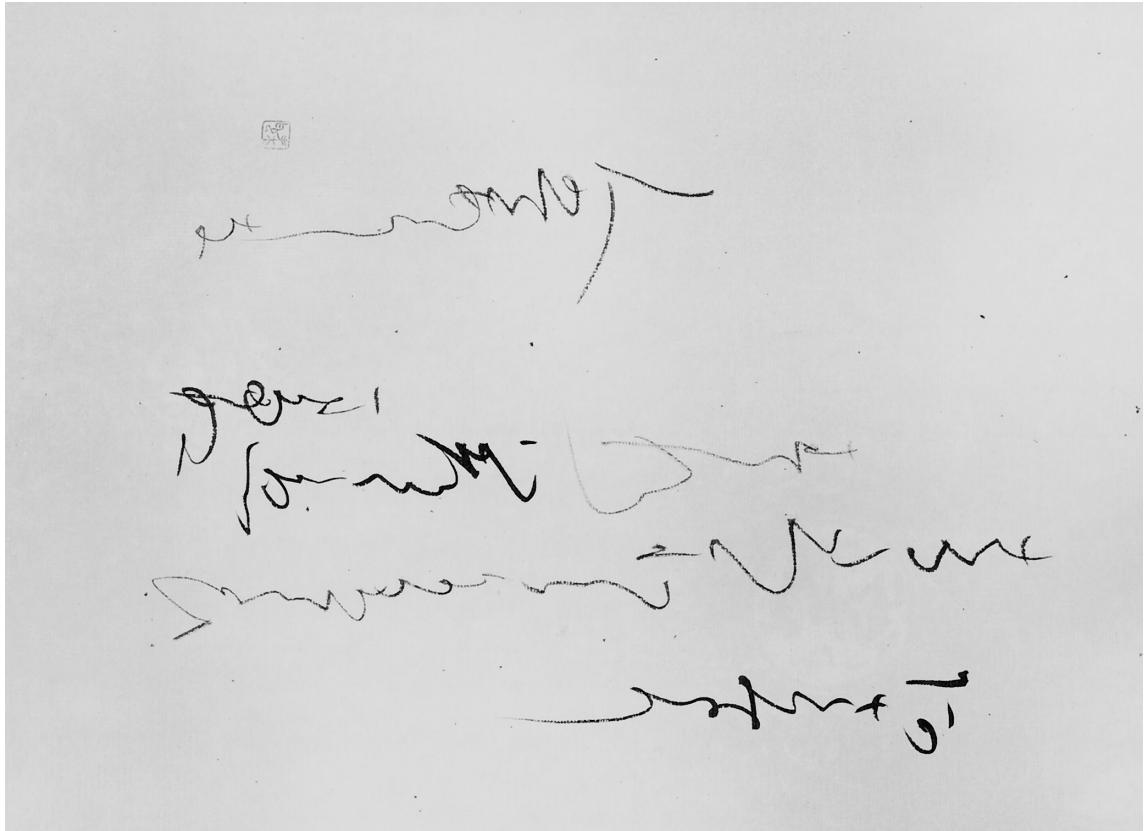
準初段から師範まで

元旦や大樹のもとの人じくふ



新入から1級まで

浅井機山先生書



はハあさみ  
声にあまつ  
阿多くぬ人はあらじ  
はあさみ  
声にあまつ  
阿多くぬ人はあらじ  
どり春立つ  
音に鶯奈の  
春多所爾有く春乃

〔出典〕和漢朗詠集上・春 露景殿女御  
〔歌意〕薄緑色の立春の空にむかって、うぐいすのはじめて鳴く声を待つ  
ていない人はいないうよ。

〔出典〕加賀白雄  
〔句意〕新しい年の明けた朝、大木の下に立つと、自然の生命の確かさ  
を感じさせ、心のやすらぎを覚える。

# 一般部毛筆細字課題

準備で活用しています。ぜひ  
ご参考皆様でご活用ください。

中國美學

半紙 (334mm×240mm)

# おおみやしゅんちょう 大宮春兆書

転任で当地へ来てはや二回目の  
新春を迎えました。町は雪祭りの  
準備で活気づいています。ぜひ  
ご家族皆様でご来遊下さい。

・印で墨つぎしました。  
(ご自分の氏名)

〔条幅・細字作品の出し方〕

書体変換、変体仮名の交換は自由です。

新入から師範まで、どなたでも出書できます。  
成績（天位～5等）は、評価により毎月変わり

〔条幅解説〕創作への展開

## 一般部毛筆条幅課題

己丑試筆自歎散人口

水國の紅葉

雲  
開  
萬  
壑  
春

支部名・会員番号・

初出品の方へ

י. ק. ד. נ. י. ו.

20

間に春景色があらわれ

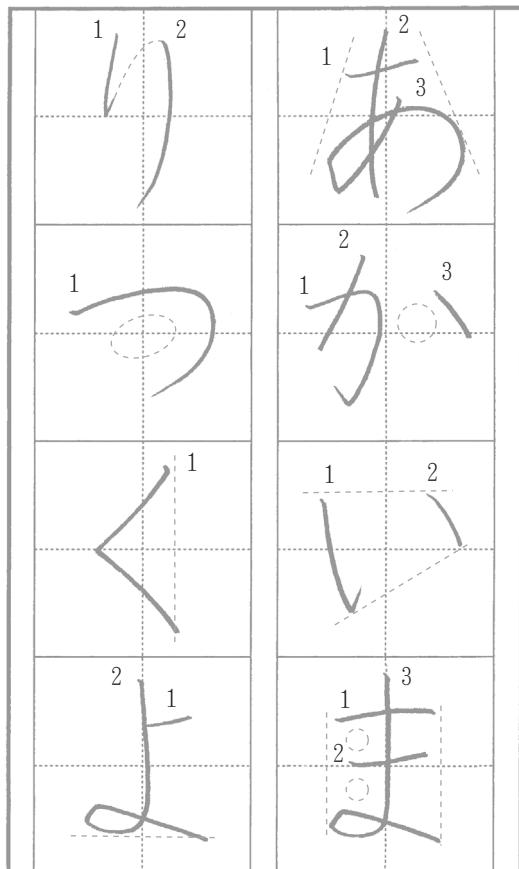
雪刀山行

〔大意〕雲がはれて谷

云開萬壑春

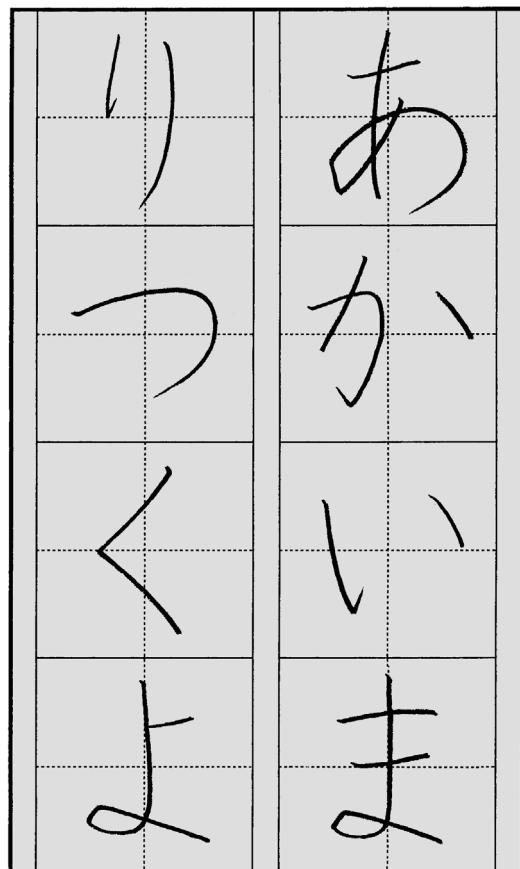
もはひらくばんがくのはる

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)



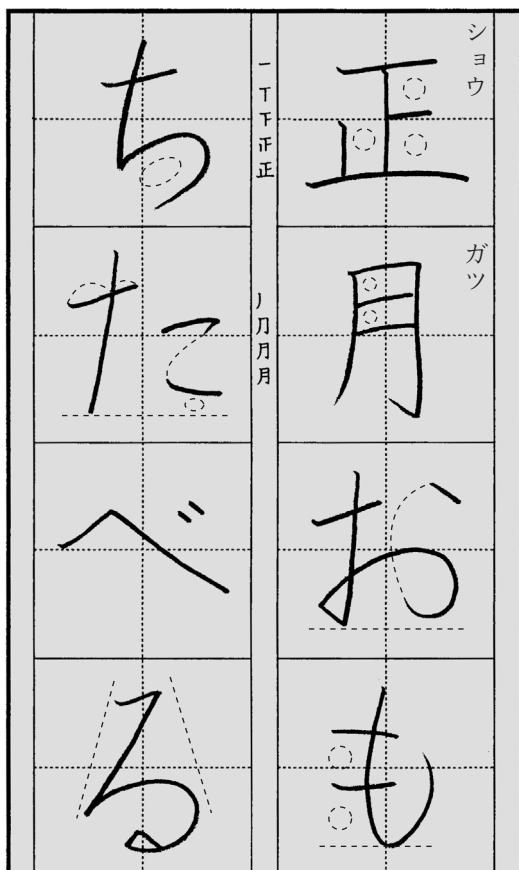
◆ひらがなトレーニング (なぞって書いてみよう)

- ★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ う 年

小三年まで  
三み 宅  
容よう  
玉ぎょく  
書



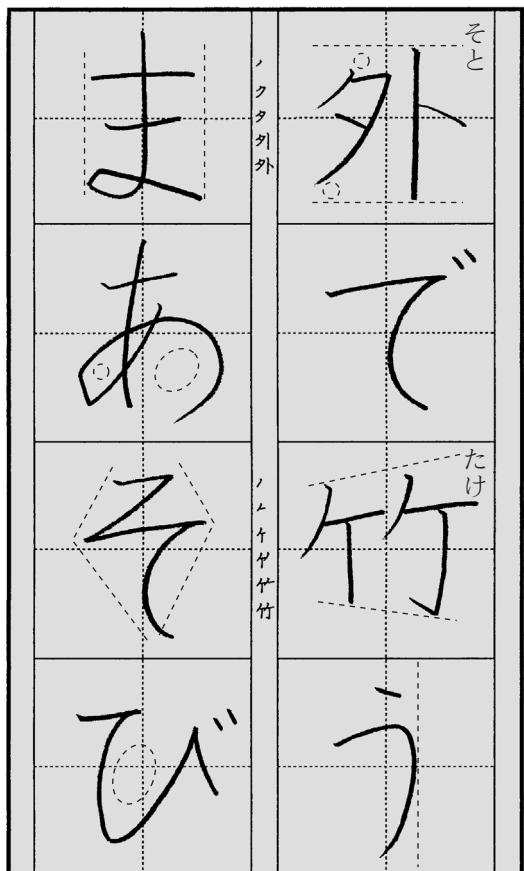
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

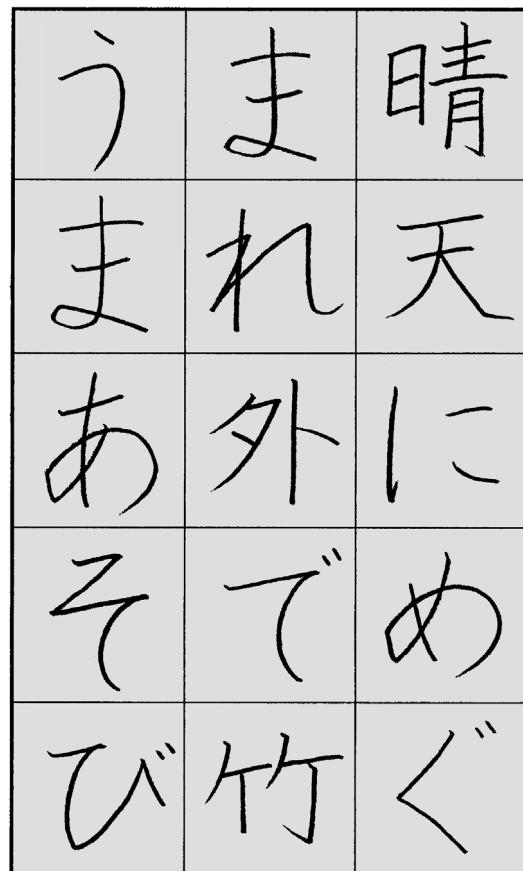
準初段以上

〈ようぐ〉自由 (黒色にかぎる)

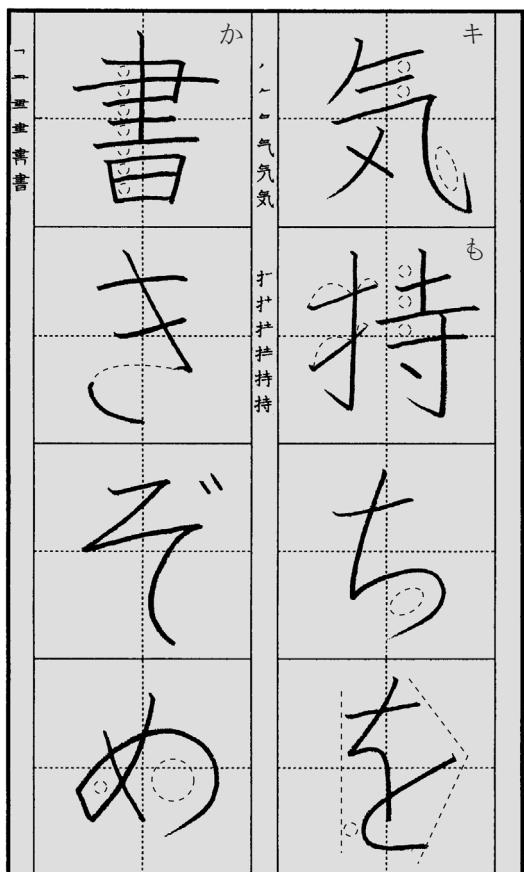


新入～1級

小二年



準初段以上



新入～1級

小三年

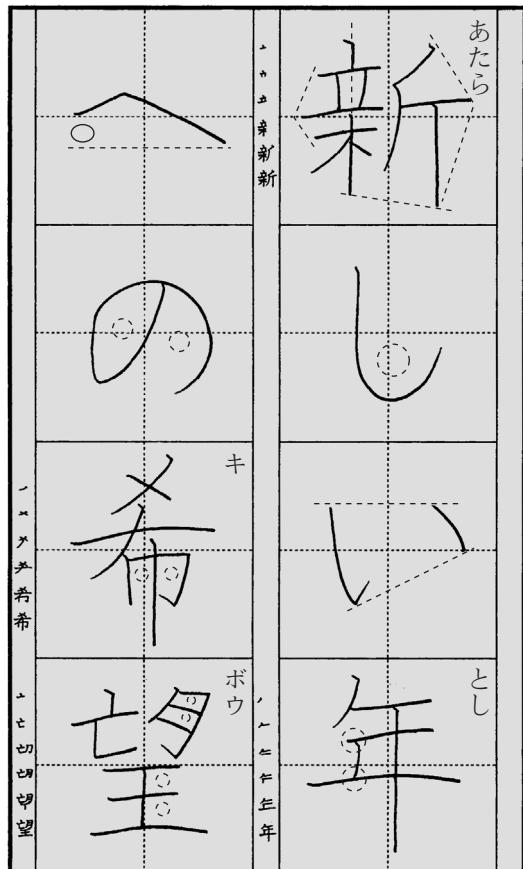


準初段以上

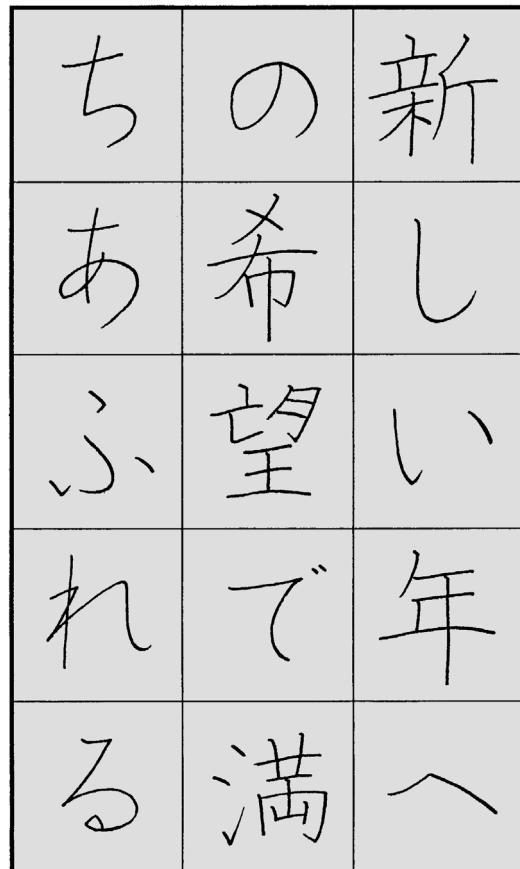
# 教育部硬筆課題

しめきり 1月24日(必着)

〈用具〉自由 (黒色に限る)

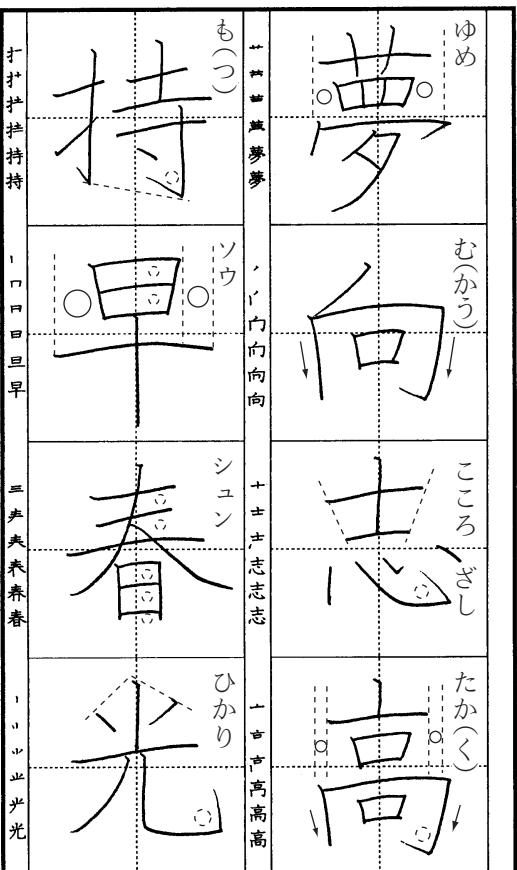


新入～1級



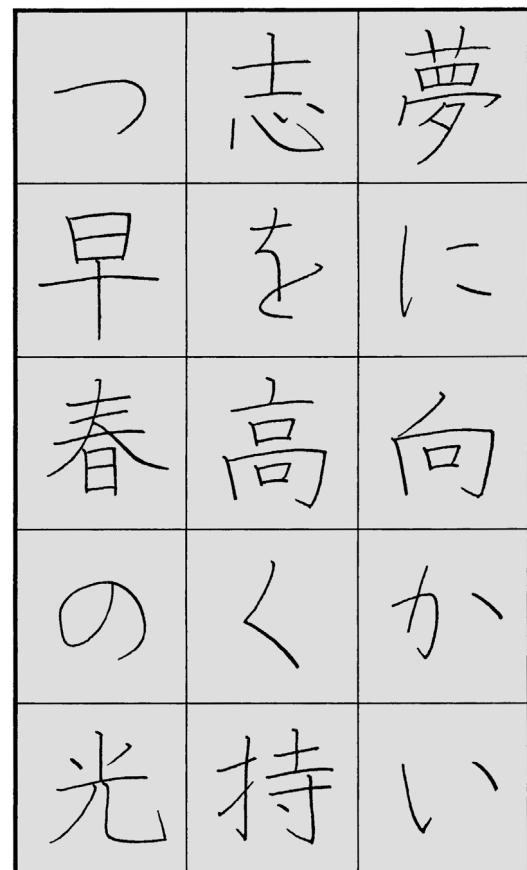
小四年

準初段以上



解説 (よく見て習いましょう)

小四以上 尾  
郷  
翠  
光  
書

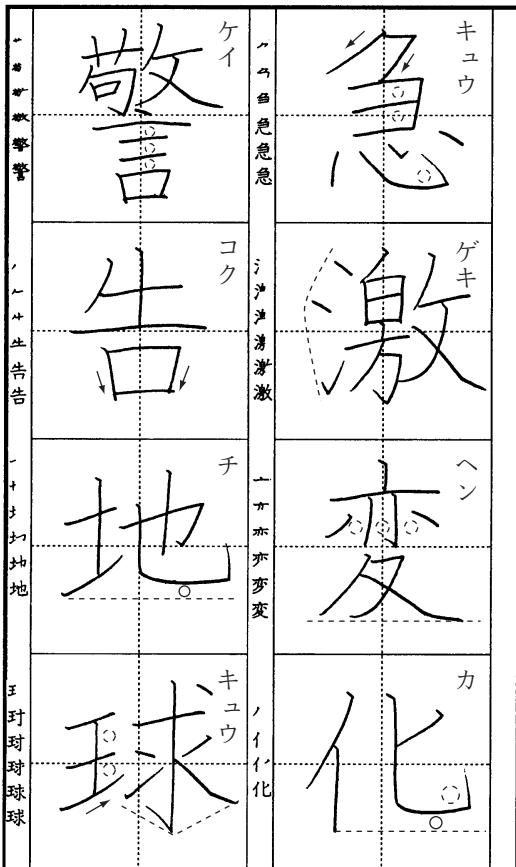


小五年

(全員)

# 教育部硬筆課題

しめきり 1月24日(必着)



〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

解説(よく見て習いましょう)

る	に	急
青	警	激
い	告	な
地	発	変
球	す	化

小六年

(全員)

知	重	日
識	ね	々
を	豊	読
養	か	書
う	な	を

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

中二・三年(行書)

が	自	輝
芽	立	く
生	の	朝
え	精	日
る	神	に

中一年(楷書)

▼小三年以下の課題

いい 飯 ぬま 沼 じゅん 順 こう 光 書

真	す	二	羽	姉
つ	み	人	子	と
黒	だ	の	板	い
だ	ら	顔	遊	つ
	け	は	び	し
	で			よ
				に

◎お手本はえんぴつ使用

一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）  
二、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。  
三、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。  
四、低学年は四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。  
五、成績は評価により毎月変わります。  
六、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

◇作品の出し方

◎お手本はつけペン使用



しめきり 1月24日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いててもよろしい。

▼小四年以上の課題

おお 大 つば 坪 み 美 き 紀 書

色	手	友	元
鮮	年	達	旦
や	賀	か	に
か	状	か	届
イ	は	ら	い
ラ		の	た
ス			
ト			
デ			

※旦は「常用漢字表」外の漢字です。



小二年

小一年

よう年



玉樹小華書

玉樹小華書

玉樹小華書

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1  
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

# 教育部毛筆課題

しめきり 1月24日(必着)

小五年

小四年

小三年



水野香竹書

水野香竹書

水野香竹書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。  
両方に出品される方は、一枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1  
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

# 教育部毛筆課題

しめきり 1月24日(必着)

中二・三年

中一年

小六年



奥村暢之書

奥村暢之書

奥村暢之書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。  
両方に出品される方は、一枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1  
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。